

第3号議案

2020年度事業計画（案）

まごころサービス塩竈センターの設立は、1995(平成7)年10月1日で、本年25年を迎えます。

NPO法人取得は、2001(平成13)年10月18日で、本年19年になります。そこで、事業の仕組みを改めて提起をし、活動を更に発展させていきたい思います。

新しい令和の時代を迎えました。これまでの実績や経験を活かしつつ、センターの理念である【愛・忍耐・技術】今一度再確認をして、福祉環境がどのように変化しても、まごころ活動は不変であり、これを踏襲して、活動を進めていきます。

新型コロナ感染予防の対策のひとつでありました、緊急事態宣言が一部の都府県を除き、解除されたものの安全宣言が出されたわけではありません。各県をまたぐ移動については自粛が求められております。

いったん気の緩みが再び感染の蔓延に繋がりがかねませんので、気を引き締めて三密を避け感染予防に一人一人が取り組むことが大切であります。

まごころケア活動は、介護保険制度のはざままで利用したくても出来ない人への手助け活動のひとつです。

いろいろのサービスがあると思いますので、工夫をして活動できる働きかけをおこなっていきます。

以上状況を把握するなかで、今年度も介護保険外活動として、まごころケア塩釜としての自主事業として、訪問介護・ミニデイサービス・福祉有償旅客運送・式番館活動などを重点的に進めていきます。

介護保険制度は、介護が必要になった高齢者やその家族を社会全体で支えていく仕組みです。「介護が必要になる」のは限られた人だけでなく、誰にでもその可能性があります。多くの人で負担し合い、万が一介護が必要になったとき、サービスを利用できるようにする制度です。

介護保険活動事業として、指定訪問介護・訪問型サービス(第1号訪問介護)・地域密着型通所介護・第1号通所事業を重点的に進めていきます。

障害者総合支援法等関係法令の理念にもとずき、利用者がその有する能力及び適正に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、事業者が個別支援計画に基

づき利用者に対して必要なサービスを適切に行うことが定められています。

障害者総合支援法等関係法令の理念にのっとり、利用者がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、障がい福祉サービス(居宅介護・同行援護・移動支援)を重点的にすすめていきます。

具体的な取り組みについて

- 1、「まごころケア活動」については、介護保険外のサービスのひとつとして、利用者の要望にそった「在宅介護・ミニデイサービス・移動サービス・式番館利用の促進」利用者の拡大と内容のさらなる充実に努めて行きたいと思えます。
- 2、介護保険活動については、「在宅介護・通所介護事業活動」においては、利用者の拡大と内容のさらなる充実に努めて行きたいと思えます。
- 3、「自立支援事業活動」についても、身体障がい居宅介護・知的障がい居宅介護・精神障がい居宅介護と障がいを持った方々が少しずつでも自立にむけた生活ができるように、活動していきます。

以上のような事業活動を展開するにあたって、本年も、次のような担当を分担化して、取り組んでいきます。

NPO法人まごころサービス塩竈センター 理事長 坂井正義

1、まごころケアサービス事業

担当責任者 坂井正義・(補助 志摩弘子)

(1) 在宅福祉サービスの提供

家事援助・庭などの草取り・介護援助・通院介助など

(2) ミニデイサービスの提供 (介護保険外デイサービス)

実施内容 毎週火・木・土曜日 午前10時～午後3時

収容人員 2～3名

実施場所 まごころ式番館

(3) 頭の体操マーじゃん教室

毎月末水曜日 午前中開催

責任者 坂井 洋子

1卓4名 2卓準備設定

(4) 移動サービスの提供

担当責任者 坂井正義

(運行管理者～坂井正義・運行福管理者～門脇 久恵)

福祉車両による移動困難の方への援助活動 通院介助・外出介助など

2、指定訪問介護・訪問型サービス(第1号訪問事業)事業

管理者 坂井 洋子

サービス提供責任者 松葉恵美子・千葉まさ子

- ◎ ホームヘルパーによる介護保険制度の「要介護」「要支援」の認定を受けられた方への、生活援助および身体介護援助・介護予防を行うための活動。

3、地域密着型通所介護・通所型サービス(第1号通所事業)事業

管理者 坂井洋子

生活相談員 坂井洋子・門脇 俊・松葉 恵美子

看護師 菅原きよ子・

機能訓練責任者 (主)菅原きよ子 (補)千葉まさ子

- ◎ ディサービスの利用者の拡大と内容の充実・各種行事計画立案実行
防火、避難訓練等の計画、実施
実施内容 週6日(日を除く)祝日はカレンダーとおおり
収容人員 定員10名
実施場所 ディサービスまごころ塩釜

4、自立支援費事業における居宅支援・同行支援・移動支援事業の実施

管理者 門脇 俊

サービス提供責任者 松葉恵美子

支援費事業は、障がいのある人が障がいのない人と同等に生活し、共に生き生きと活動できる社会をめざし、生活支援という面だけでなく、自立と社会参加を促進するため積極的に取り組みます。

5、研修会・施設見学のとりのくみ

6、ケア団体間および同種団体との情報交換・連絡調整

他団体が開催する福祉に関する研修会・講演会への積極的な参加

7、職員研修の実施

◎ 毎月の定例会後及び9月または10月に予定

8、理事会・定例会の開催

◎ 理事会 6月・9月・3月

◎ 定例会 毎月末日の午後

9、日本ケアシステム協会全国センター長会・通常総会

2021年(令和3年)5月15日～16日

場所 未定